

平成29年度今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市野間馬ハイランド
所在地	今治市野間甲8番地
指定管理者	<p>名称 野間馬保存会</p> <p>代表者 会長 大澤 譲児</p> <p>住所 今治市阿方甲246番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>産業部観光課</p> <p>T E L : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的や管理運営の基本方針を十分に理解してして管理業務を実施している。	B	適正に実施されており、問題はない。平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされていると認められた。
利用状況	B	入園者数・乗馬利用者数は実績対比は前年度を下回った。	B	市内人口の減少に伴い、利用者数が減少しているが、今後も利用促進と保存育成の両立に向けた新たな取り組みに期待したい。
事業収支	B	野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業協同組合乃万支店次長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行った。また、収支計画に基づいて予算執行を行い、資金調達においても余裕を持って対応できた。	B	適正に作成された収支計画に基づき、安定した予算執行を行っており評価できる。
管理運営体制	B	組織体制及び職員の研修については一定の水準の取り組みを行った。	B	適切な人員配置が行われている。職員研修も実施されており評価できる。
維持管理業務	B	維持管理業務については、一定の水準の取り組みを行っているが、特に植栽管理業務及び清掃管理業務については、園長以下職員全員で積極的に取り組んでおり、清潔感のある人の目が行き届いたどの公園にも負けない「美しい公園」であると思われる。	B	各項目とも適切に実施されており評価できる。また植栽管理や清掃作業などは職員が積極的に取り組んでおり評価できる。

飼育管理業務	A	飼育管理業務、日常管理業務、保存管理業務、動物利活用業務及び飼育管理記録等保存業務のすべての業務において、積極的に取り組んだ。	A	馬の個体に応じた高い水準での飼育管理を実施しており、評価できる。今後は各機関と連携を取り、繁殖管理システム等を積極的に利用して、頭数の適正管理に取り組んでいただきたい。
その他業務	C	事故及び災害等発生時の対応において、マニュアル関係を整備した。	C	概ね適正に実施されていた。有事の際に備え日頃より準備をしておいてほしい。
修繕業務	B	修繕業務に関しては、一定の水準での取り組みを行った。	B	応急的、また計画的な修繕を指定管理料の中で適正に行っており評価できる。
備品管理業務	B	備品管理業務に関しては、一定の水準での取り組みは行った。又、常時点検修理を行って維持している。	B	備品管理業務は適正に行われている。
自主事業	B	自主事業として、「のまうま新聞」、「のまうまの日（無料体験乗馬）」等を実施し、一定の水準以上の取り組みを行った。	B	現在の自主事業を継続しつつ、新たな取り組みを行い利用者増加に繋げていただきたい。
地域団体との連携	B	今治市立乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域の清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係を築いた。	B	地域の方々と協力しながら、野間馬を活用しており評価できる。今後も良好な関係を維持することに期待する。
利用者アンケート	C	今回、良くて当たり前（普通）という指標で利用者アンケートを取った。結果については満足いくものであり、今後も満足度の向上に向けた取り組みを強化していきたい。施設内案内について修繕等で改善していきたい。	C	適正に実施されている。満足度の高い内容となっており評価できる。
事故・苦情	C	事故・苦情については、取り組みにより一定の水準を満たしている。	C	概ね適正に実施されている。今後も事故、苦情等への迅速な対応を期待する。
指定管理者の経営状態			財務諸表及び会計帳簿を精査した結果、適正に作成されており、経営状態は健全かつ安定していると認められた。	

総合コメント（市）

指定管理者は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特性をふまえた管理運営に努めており、指定管理業務は概ね適正に実施されていると認められた。

市内人口の減少とともに利用者数は減少しているが、野間馬ハイランドは市民や観光客にとっても必要とされている施設である。のまうまの日の認知拡大や、出張乗馬等を通して野間馬ハイランドの宣伝等を行い利用促進に努めていただきたい。経営に関しては、適正な予算執行により、資金不足に陥ることなく、施設の維持修繕を行うなど安定的な経営に努めていると認められた。以上のことより、指定管理者としては標準的なレベルにあると認められた。

今後は、指定管理者が蓄積している経験を活用し、より一層のサービス水準向上に取り組むとともに、関係機関と連携し、野間馬の頭数管理、利活用に向けた取り組みの強化に期待したい。